

News Letter つなぐ

～人を育てる風土を作り、元気で強い会社に！～

このたびの台風21号、大雨により、被害を受けられたの皆様。また、北海道胆振地方を震源とする地震による被害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興がなされますよう、心よりお祈り申し上げます。

今回「つなぐ vol.9」は、自立を促す14の習慣 その9 『過去と他人は変えられない、人はみな違う（人は見たいように見るし聞きたいように聞く）ことを知っている』について書きたいと思います。よろしければお付き合いください。

その前に・・・「自立って何?」「自立を促す習慣って何?」と思われた方もいらっしゃると思います。

「自立」とは



(NPO 法人マザーズサポーター協会・メンターマネジメント協会)

●「自立」とは

自らの人生や仕事において、「自分が選択している」という意識があり、その選択に責任を持っていること

●「自立した人」とは

- ・一人ひとりが自分で考え、壁を乗り越える力を身につけていること。
- ・何か問題が生じたとき、他人への責任転嫁（他責）ではなく、つねに当事者意識を持ってあたること

●「自立（成熟）した組織」とは

- ・組織自体に問題解決をする能力があり、協働の雰囲気を大切にし、必要な時に改善に向けて話し合う力があること
- ・一人ひとりの力が十分に発揮されていること

相手の自立を促すための関わり方をエッセンスとしてまとめたものが「自立を促す14の習慣」（自立型支援方法）です。良い仕事、良い組織のためにも、大切なこととして研修などでお伝えをしています。

その他の「自立を促す14の習慣」は、ホームページに記載しています。URL：<https://bearlink.jp/service/jinzaikusei-2/>

過去と他人は変えられない

「過去と他人は変えられない」何度となくお聞きになられたことがあるかもしれません。

そうは分かっているけど、私たちは、過去のことを「あの時もっと注意していれば」「あんなことがなければ」などと考え、後悔することがあります。

もし、相手の行動が原因で失敗した場合、「何やってるんだ!」「なんてことしてくれるの!」と相手に詰問すると、何が起こるのでしょうか?

「そんなこと言われたって・・・」「こちらにだって事情があるのに・・・」と、相手は、逃げ場を失い、過去の自分を守るために言い訳を考えだします。

どんなに大きな失敗だったとしても、悲しいかな過去は変えられず、私たちが作り出したことは未来にしかありません。



また、過去と同じように変えられないのは、他人です。人は、催眠術かマインドコントロールにかかるか、本人が「こうしよう!」と思わない限りは動きません。しかし、職場での人間関係の悩みのほとんどが、「上司は分かってくれない」「部下が思ったように動いてくれない」などです。

変わらない相手を変えようとして、イライラしたり、悩んだりしているのです。

変えられない他人を変えるのが部下育成

「他人は変えられない」とはいえ、上司は部下に動いてもらわなければ、仕事になりません。

力（立場）で他人を動かすということもできるかもしれませんが、力を使って無理やり人を動かして続ける先にどんなことが起こるのでしょうか? 昨今、ニュースをにぎわしているスポーツ界に限らないでしょう。

では、何があれば他人を変えられるのでしょうか?

「この人になら話をしてもいいかもしれない」
 「この人の話なら聞き入れてみよう」
 「この人なら心を開いても安心だ」
 と思ってもらえる関係づくりをするしかないようです。

管理職 U さんのエピソード

ある懇親会で管理職 U さんが愚痴をこぼされました。
 「何かあっても報告せず、勝手に予定を変更する部下がいる。報告、相談は仕事をする上で当たり前のことなのに、何度言ってもしない。これ以上どう言えばよいのか。」

U さんの課は、メンバーが日に何件か顧客を訪問し、客先で作業をするというお仕事をされています。
 課全体として 1 日の仕事をより効率的に行なうため、そして、顧客からの問合せがあった時に変更を把握しておくことは、会社の信頼にも関わるため、部下の予定、仕事内容を把握できないことに困っていらっしやるようでした。

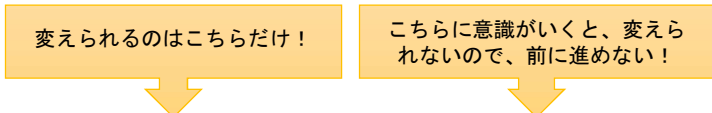
「何かあった時、部下がすぐ報告や相談をしてくるチームのリーダーはどんなリーダーでしょう？」
 私が尋ねました。

「自分の経験に照らして考えると、話しやすい雰囲気、好ましくない話でも聞いてくれる人でしょうか」
 そう言った U さんは、ハッとされたようでした。

「私は、部下が報告や相談してくる時に、“またか” と不機嫌そうに電話に出ていたかもしれません。部下の話している最中に問い詰めたり、そんなことも分からないのかと否定したりもしてましたね。私が報告や相談をしにくくしていたんですね。」

その後、U さんはメンバーの話をまずは大切に「聴く」ということを意識されたそうです。徐々にメンバーから進んで報告してくるようになり、最近では相談してくることが無かった部下が相談に来るようになったそうです。

POINT !



コントロールできるもの	コントロールできないもの
自分の行為・行動	自分の感情
自分の思考	自分の生理反応
	他人の行為・行動
	他人の感情・生理反応
未来	過去

～INFORMATION～

個人向け
セミナーのご案内
働く女性のためのしなやか術
 ～流れを変え、未来を拓く
 レジリエンスアップセミナー～
 日時：2018年10月28日（日）
 13：30～16：00
 場所：あすてっぷ KOBE
 （神戸市男女共同参画センター）
 詳細は、チラシを同封させていただきます。

誰にでも、困難や壁を前に、動けなくなる時があります。そんな時こそ、今を受け止め、流れを変え、望む未来を自ら拓いていきたいものです。今回は、働く女性を対象としたセミナーを企画させていただきました。周囲の方にご紹介いただけたら幸いです！

～編集後記～

「他人は変えられない」と言うけれど、以前の私は、「私の方が正しいのに、なぜこちらが変わらなきゃいけないの？なんかシヤクにさわる！」と思っていました。自立型支援方法を学ぶうちに、「自分が変わらなければいけない」のではなく、「自分しか変えられない」のだと気付くことができました。悩む事、腹が立つことはもちろんあります（笑）。でも、「自分がどうなればよいのだろう」と切替えが少しは早くなったように思います。

ベアリンクニュースレター「つなぐ Vol.9」をお読みくださり、ありがとうございました！

発行：ベアリンク 土元紀子
 〒530-0001 大阪市北区梅田 1 丁目 11 番 4 号 大阪駅前第 4 ビル 9 階 923-1001 号
 TEL：06-4400-5189 FAX：06-6345-7931 Mail：info@bearlink.jp URL：https://bearlink.jp

